

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
平戸市・松浦市地域	平戸市、松浦市及び北松北部環境組合	平成28年度～令和4年度	平成28年度～令和4年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現状(割合※1) (平成26年度)	目標(割合※1) (令和5年度) A	実績(割合※1) (令和5年度) B	実績/目標 ※2	
排出量	事業系 総排出量	2,342 t	2,335 t ( -0.3%)	2,687 t ( 14.7%)	-4900.0%
	1事業所当たりの排出量	0.57 t	0.57 t ( 0.0%)	0.73 t ( 28.1%)	-2810.0%
	生活系 総排出量	13,337 t	11,823 t ( -11.3%)	11,793 t ( -11.6%)	102.7%
	1人当たりの排出量	213 kg/人	212 kg/人 ( -0.5%)	224 kg/人 ( 5.2%)	-1040.0%
合 計 事業系生活系総排出量合計	15,679 t	14,158 t ( -9.7%)	14,480 t ( -7.6%)	78.4%	
再生利用量	直接資源化量	0 t (0.0%)	0 t ( 0.0%)	0 t ( 0.0%)	0.0%
	総資源化量	3,399 t (20.0%)	3,291 t ( 21.3%)	3,048 t ( 19.8%)	-15.4%
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量)	3,854MWh	3,854MWh	3,170MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	720 t (4.6%)	567 t ( 4.0%)	564 t ( 3.9%)	116.7%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成26年度)	目 標 (令和5年度) A	実 績 (令和5年度) B	実績/目標 ※3	
総人口	58,382 人	51,680 人	49,012 人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	4,995 人	6,687 人	3,895 人	-65.0%
	汚水衛生処理率又は汚泥処理人口普及率	8.6%	12.9%	7.9%	-16.3%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	1,649 人	1,581 人	1,108 人	795.6%
	汚水衛生処理率又は汚泥処理人口普及率	2.8%	3.1%	2.3%	-166.7%
コミュニティ・プラント	汚水衛生処理人口	229 人	240 人	275 人	418.2%
	汚水衛生処理率又は汚泥処理人口普及率	0.4%	0.5%	0.6%	200.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	14,360 人	16,956 人	17,648 人	126.7%
	汚水衛生処理率又は汚泥処理人口普及率	24.6%	32.8%	36.0%	139.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	37,149 人	26,216 人	26,086 人	101.2%
	汚水衛生未処理率又は汚泥処理人口未普及率	63.6%	50.7%	53.2%	80.6%

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再 使用の推進に 関するもの	12	有料化	平戸市、松浦市	現行の徴収方法と手数料を継続するが、 ごみ排出削減や再生利用に関する目標の 進捗状況等を勘案し、必要に応じて見直 しを行う。	平成28年度 ～令和4年度	〔平戸市〕 ごみ排出量削減や再生利用のためごみ処理有 料化を継続し、ごみの減量化と分別の促進に努 めた。また、本市における受益者負担の適正化 に関する指針に基づく見直し(改定無)を行っ た。  〔松浦市〕 ごみの排出削減、再生利用を目的としてごみ 処理手数料の有料化を継続し、ごみの減量化や 分別回収に取り組んだ。
	13	環境教育、普及啓発	平戸市、松浦市	一般住民や小学生を対象にごみに関する 副読本、ビデオ、施設見学等を通じて、 教育活動に対して積極的に取り組んでい く。	平成28年度 ～令和4年度	〔平戸市〕 各団体や小学生の施設見学やアドバイザー派 遣事業を活用し、再生利用に関する環境教育を 実施した。  〔松浦市〕 市民団体や小学生を対象として施設見学を実 施し、また、コロナ禍の中で直接施設見学を実 施できなかったときにもDVDの貸与等により環 境教育を行った。
	14	マイバック運動、 レジ袋対策	平戸市、松浦市	マイバック運動を推進し、商工会議所や 各商業店舗、その他関係事業者団体、消 費者団体等と協働してレジ袋削減を推進 していく。	平成28年度 ～令和4年度	〔平戸市〕 レジ袋削減策を推進し、エコフェスタやイベ ントでのマイバック配布を行った。  〔松浦市〕 環境教育の場面やイベントの際にオリジナル エコバックを配布した。
	15	生ごみ堆肥化の推進	平戸市、松浦市	生ごみを分別収集し、堆肥化処理を行っ ていく。	平成28年度 ～令和4年度	〔平戸市〕 一般家庭及び事業所より排出される生ごみの 再資源化を推進した。  〔平戸市・松浦市〕 堆肥化処理については、北松北部クリーンセ ンター汚泥再生処理施設において実施した。

発生抑制、再使用の推進に関するもの	16	資源物回収(集団回収)に対する助成	平戸市、松浦市	集団回収を行っている地域団体に対して交付金を交付し、集団回収の活性化の促進を図っていく。	平成28年度 ～令和4年度	<p>[平戸市] 古紙類等の再資源化助成金制度を活用し、各種団体等による資源物回収を行った。また、拠点回収ボックスを4箇所に設置した。</p> <p>[松浦市] 資源物回収を行った団体に対して、奨励金を交付するとともに、優良団体に選定された各年度につき5団体に対して地域振興券を配布するなど、資源物回収への意識の高揚をはかった。</p>
	17	生活排水対策	平戸市、松浦市	<p>家庭などから排出される汚濁負荷量の削減のため、つぎの啓発活動の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃油ポット、三角コーナーネット、拭取紙などの排出抑制用品の普及</li> <li>・無リン洗剤、せっけんの使用</li> <li>・水環境の保全に関する広報活動の実施</li> </ul>	平成28年度 ～令和4年度	<p>[平戸市] 水環境の保全に関する広報活動の実施。家庭から排出される廃食油を回収する実証実験に取り組んだ。</p> <p>[松浦市] イベント時のアンケート参加記念品として油とり名人を配布した。</p>
	18	合併処理浄化槽の設置促進	平戸市、松浦市	合併処理浄化槽への転換を働きかけていくとともに、未処理地域における合併処理浄化槽設置の普及を図る。	平成28年度 ～令和4年度	<p>[平戸市] 令和4年度に補助制度の拡充等を実施し、普及率が低い離島や都市計画区域用途地域の普及促進を図った。</p> <p>[松浦市] 令和4年度から補助事業を拡大して単独浄化槽からの転換に伴う屋内配管事業に対しても補助金を交付するなど、合併処理浄化槽設置の普及に努めた。</p>
	19	浄化槽の適正な維持管理	平戸市、松浦市	家庭及び事業所等に設置された浄化槽の適正な維持管理を働きかけ、設置された浄化槽の性能維持を図る。	平成28年度 ～令和4年度	<p>[平戸市] 浄化槽の適正な維持管理を推進するとともに、令和4年度から離島部の合併浄化槽の維持管理に係る経済的負担の軽減を図る補助制度を創設した。</p> <p>[松浦市] 浄化槽台帳の整備を行い、未使用浄化槽の廃止、管理者の変更等管理体制の充実化を図った。また、県北保健所と協力して、未届浄化槽の現地確認等も実施した。</p>

処理施設の整備に関するもの	1	廃棄物処理施設の基幹的設備改良事業	北松北部環境組合	北松北部クリーンセンター（汚泥再生処理施設）基幹的設備改良工事	平成29年度～平成30年度	平成30年度末に汚泥再生処理施設の基幹的設備改良工事が完了した。
	2	マテリアルリサイクル推進施設	平戸市	大島村クリーンセンターごみ焼却施設解体撤去工事及びストックヤード建設工事	令和3年度～令和4年度	ごみ焼却施設を解体撤去後、島内における一時集約施設としてストックヤードを整備した。
	3	合併浄化槽整備	平戸市	浄化槽設置整備事業(本土)	平成28年度～令和4年度	H28:96基、H29:104基、H30:92基、R元:95基、R2:77基、R3:87基、R4:79基 計630基
	4	合併浄化槽整備	平戸市	浄化槽設置整備事業(離島分)	平成28年度～令和4年度	H28:4基、H29:3基、H30:4基、R元:2基、R2:3基、R3:4基、R4:3基 計23基
	5	合併浄化槽整備	松浦市	浄化槽設置整備事業(本土分)	平成28年度～令和4年度	H28:44基、H29:46基、H30:43基、R元:42基、R2:47基、R3:40基、R4:37基 計299基
	6	合併浄化槽整備	松浦市	浄化槽設置整備事業(離島)	平成28年度～令和4年度	H28:0基、H29:0基、H30:0基、R元:0基、R2:0基、R3:0基、R4:0基 計0基
施設整備に係る計画支援に関するもの	7	廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援事業(事業番号1)	北松北部環境組合	長寿命化総合計画の策定	平成28年度～平成28年度	汚泥再生処理施設の長寿命化に向けた計画の策定
	8	施設整備に関する計画支援事業(事業番号1)	北松北部環境組合	発注仕様書等の作成	平成28年度～平成28年度	汚泥再生処理施設の基幹的設備改良工事の業者選定に係る入札に必要な発注仕様書の作成
	9	施設整備に関する計画支援事業(事業番号2)	平戸市	事前調査 発注仕様書等の作成	令和元年度～令和2年度	マテリアルリサイクル推進施設(ストックヤード建設工事)に係る発注仕様書等作成業務の作成
その他	22	不法投棄対策	平戸市、松浦市	不法投棄に対しては堅固な姿勢にて対応し、パトロールの実施などの更なる強化も図りながら、不法投棄防止を図る。	平成28年度～令和2年度	[平戸市] 県北保健所や警察と協力しパトロールを実施、改善指導を行った。  [松浦市] 不法投棄パトロール員を雇用し、日々パトロールを実施した。また、県北保健所、長崎県警と協力して不法投棄パトロールを実施した。

その他	23	廃家電のリサイクルに対する普及啓発	平戸市、松浦市	特定家庭用機器再商品化法に基づく、適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行っていく。	平成28年度 ～令和2年度	〔平戸市〕 処分方法の問合わせ対応に、制度や仕組みの説明、引取業者の案内など適切なリサイクル促進啓発に努めた。  〔松浦市〕 リサイクル家電商品の処分については市のHPに掲載しているほか、個別であった電話、窓口での問い合わせに対しても、引き取り業者や排出手続きについて案内するなど、普及啓発を図った。
	24	災害時の廃棄物処理に関する事項	平戸市、松浦市	関係機関での協議を進め、災害時における周辺自治体との円滑な連携が図れるよう体制を整える。災害廃棄物対策指針に則った、災害廃棄物処理計画を策定する。	平成28年度 ～令和2年度	〔平戸市〕 平成31年3月に計画を策定し、災害廃棄物の処理に関する考え方や体制、処理方法などを定めた。  〔松浦市〕 平成31年4月に松浦市災害廃棄物処理基本計画を策定した。また、「災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」を令和3年7月には長崎県環境保全協会及び長崎県環境整備事業協同組合と、同年12月には長崎県産業資源循環協会と締結した。また、令和4年には産業資源循環協会の協力をいただき、仮置き場の選定まで終了することができた。

### 3 目標の達成状況に関する評価

#### 1. ごみ排出量、再生利用量、減量化量及び最終処分量の実績と目標達成状況

排出量

【事業系】

①総排出量

平成26年度2,342 t/年に対し、0.3%減の2,335 t/年を目標年度(令和5年度)の目標値に定めたが、令和5年度実績は平成26年度に対する14.7%増の2,687 t/年となり、目標達成には至らなかった。

②1事業所当たりの排出量

平成26年度0.57 t/年と同量の計画目標値に対し、28.1%増の0.73 t/年と総排出量と同様に目標値達成には至らなかった。

【家庭系】

①総排出量

平成26年度13,337 t/年に対し、11.3%減の11,823 t/年を目標年度の目標値に定めたが、令和5年度実績は平成26年度に対する11.6%減の11,793 t/年となり、目標を達成できた。

②1人当たりの排出量

平成26年度213kg/人に対し、0.5%減の212kg/人を目標年度の目標値に定めたが、5.2%増の224kg/人と目標値達成には至らなかった。

再生利用量

総資源化量

平成26年度20.0%に対し、21.3%を目標年度の目標値に定めたが、令和5年度実績は19.8%の3,048 t/年となり、目標達成には至らなかった。

エネルギー回収量

発電電力量の目標値3,854kwhに対し、実績値は3,170kwhとなり、目標を達成することができなかった。

最終処分量

目標値567 t (4.0%)に対し、実績値は564 t (3.9%)となり、目標を達成することができた。

#### 2. 生活排水処理

公共下水道

目標値6,687人(普及率12.9%)に対し、実績値は3,895人(普及率7.9%)となり、目標を達成することができなかった。

集落排水処理施設等

目標値1,581人(普及率3.1%)に対し、実績値は1,108人(普及率2.3%)となり、目標を達成することができなかった。

コミュニティ・  
プラント

目標値240人(普及率0.5%)に対し、実績値は275人(普及率0.6%)となり、目標を達成することができた。

合併処理浄化槽等

目標値16,956人(32.8%)に対し、実績値は17,648人(36.0%)となり、目標を達成することができた。

未処理人口

目標値26,216人(50.7%)に対し、実績値は26,086人(53.2%)となり、目標の処理人口は達成したものの処理率は達成することができなかった。

(都道府県知事の所見)

**【ごみ処理】**

排出量、再生利用量、最終処分量のいずれも、目標未達成となっている。排出量については生活系では一定の成果が得られているが、事業系では実績が目標を下回っており、引き続き、効果的な対策の実施が必要と考えられる。

**【浄化槽】**

合併処理浄化槽の汚水衛生処理率の向上については、目標値（R5末）32.8%に対し、実績値は36.0%と達成しており、施策を実施した効果はあるものと認められる。